

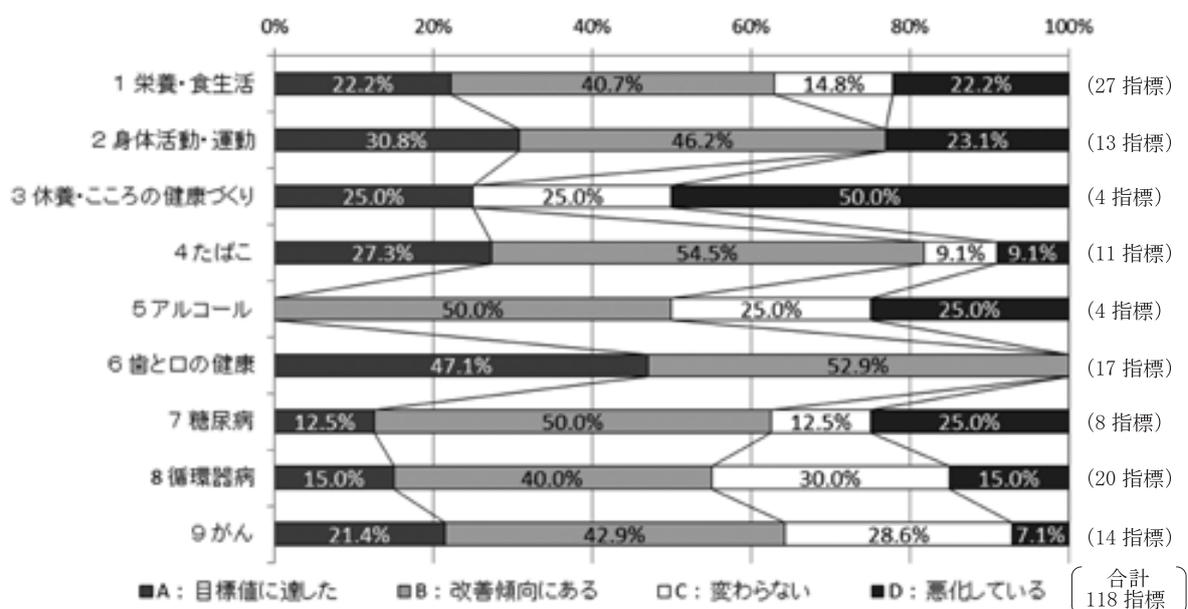
3 「元気じゃけんひろしま21」の評価の状況 .....

前計画の9領域80（重複指標を除く）指標のうち、評価を実施した71の指標について達成状況を評価した結果、22(31.0%)の指標が目標値に達しており、「目標値に達していないが改善傾向にある」指標28(39.4%)を合わせると、7割は目標に向けて成果がみられました。

区分	A (目標値に達した)	B (改善傾向にある)	C (変わらない)	D (悪化している)	小計	E (評価困難)	合計数
領域全体	29 (22.1%)	52 (39.7%)	18 (13.7%)	19 (14.5%)	118 (90.1%)	13 (9.9%)	131 (100%)
(評価困難を除く)	(24.6%)	(44.1%)	(15.3%)	(16.1%)	(100%)	—	—
重複指標を除く	22 (27.5%)	28 (35.0%)	10 (12.5%)	11 (13.8%)	71 (88.8%)	9 (11.3%)	80 (100%)
(評価困難を除く)	(31.0%)	(39.4%)	(14.1%)	(15.5%)	(100%)	—	—

※（ ）内の数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

(1) 領域ごとの目標達成状況



(%の数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。)

目標値に達した指標の割合が最も高かった領域は「6 歯と口の健康」(47.1%)であり、目標値に達していないが改善傾向にある指標を合わせると、100%でした。

2番目に目標値に達した指標の割合が高かった領域は「2 身体活動・運動」(30.8%)であり、目標値に達していないが改善傾向にある指標を合わせると、77.0%でした。

3番目に目標値に達した指標の割合が高かった領域は「4 たばこ」(27.3%)であり、目標値に達していないが改善傾向にある指標を合わせると、81.8%でした。

一方、悪化している指標の割合が最も高かった領域は「3 休養・こころの健康づくり」で50.0%でした。

## (2) 評価内容

### ア 栄養・食生活

家庭、地域、保育園・幼稚園・学校が連携を強化し、望ましい生活習慣の定着につながる食育を推進する必要があります。

特に若い世代を中心とした食に関する取組を充実させるとともに、「食事バランスガイド」の普及、食品表示についての外食産業やコンビニエンスストア等への働きかけ、地域の人材育成等、健康づくりを広げる仕組みづくりが重要です。

### イ 身体活動・運動

歩数の減少は、肥満、生活習慣病の発症、高齢者の自立度低下や虚弱化の危険因子であるため、健康ウォーキングを推進する必要があります。

特に、学校と連携した子どもの頃からの運動習慣の確立が重要であるとともに、通勤時間等を利用したウォーキングの推進といった働く世代への取組を企業等と連携して行うなど、行動変容につながる具体的なアプローチが必要です。

### ウ 休養・こころの健康づくり

40、50歳代の働く世代を中心に、睡眠やストレス解消、メンタルヘルスに関する取組について、地域や企業等と連携して行う必要があります。

### エ たばこ

禁煙したい方が確実にやめることができる支援、若い世代や妊産婦の喫煙防止、未成年者の喫煙防止について、地域、学校、医療機関等と連携した取組を推進する必要があります。また、公共施設等における受動喫煙防止対策や元気じゃけんひろしま21協賛店・団体の増加等の環境整備を推進する必要があります。

### オ アルコール

地域や企業等が連携して、成人に対し、アルコールに関する正しい知識や適正飲酒についての普及啓発を行うとともに、多量飲酒による健康障害や社会問題を防ぐため、適正飲酒を実践することができるような環境づくりを行う必要があります。また、女性の飲酒対策や未成年者の飲酒防止対策についても取り組む必要があります。

### カ 歯と口の健康

幼児期については、フッ化物応用等の効果的なう蝕予防方法に関する知識の普及啓発を推進し、成人期については、若い世代から、定期的な歯科健康診査などの予防処置や歯間部清掃器具の使用を習慣化させるための取組を推進するなど、ライフステージに応じた適切なう蝕・歯周病予防等の取組を進めていくことが必要です。

キ 糖尿病

栄養・食生活や身体活動・運動等の生活習慣に関する取組を着実に推進するとともに、健康診査による早期発見により、初期段階から適切な治療に結び付けるなど、重症化予防対策に取り組む必要があります。

ク 循環器病

栄養・食生活や身体活動・運動、たばこ等の生活習慣に関する取組を着実に推進するとともに、健康診査により高血圧や脂質異常症を早期に発見し、循環器疾患への移行及び重症化を予防する対策に取り組む必要があります。

ケ がん

がんは一次予防が最も重要であることから、がんやがん予防についての正しい知識の普及啓発を図るとともに、検診を受けやすい環境整備など、関係団体・機関と連携して受診率向上対策を推進する必要があります。

コ 総括的評価

明るく元気なまちづくりの実現のためには、生涯を通じた健康づくりの推進と地域活動の活性化が不可欠であり、引き続き、関係団体・機関が協力して取組の推進強化を図る必要があります。